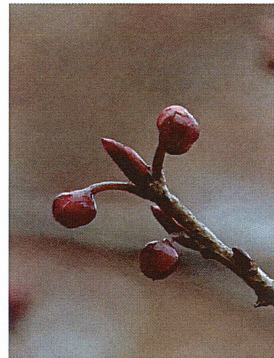


やや湿った沢沿いや林縁に自生する落葉低木。雌雄異株。名の由来は諸説あり、アブラ（油）+チャン（瀝青）という説が代表的です。「瀝青」とは天然のアスファルトやタールなど黒色の粘着性のあるものを差し、アブラチャンは油分が多いことから付けられたそうです。樹皮や種子に油分が多く、種子を搾って灯明油や頭髮油に利用されました。生木でも良く燃えます。

クロモジの仲間、枝を折るとよく似た芳香があり、冬芽もクロモジと似ています。花は春、淡黄色の小さな花を枝先に多数付けます。クロモジは葉と花が同時に展開しますが、アブラチャンはクロモジよりも早い時期に葉より花が先に咲くので見分けられます。初夏に大きな丸い実をつけ、秋に熟すと中から直径12～14mmほどの丸い茶色い種子がでできます。細長い幹は、材のしなりとねじれ強さから、輪かんじきや杖、縄の代用品として利用されてきました。

県民の森では「希樹園」に雌雄とも植栽されているので、雌雄の花の違いや実の成長の様子をじっくりと観察できます。



冬芽 2022年11月8日



雄花 2025年4月21日



雌花 2025年4月18日



実 2023年8月28日

県民の森の秋と啄木

～案内人 啄木ソムリエ・山本玲子～

石川啄木が詠んだ秋の風景。
岩手山の麓、県民の森で味わってみませんか。

2025年9月3日(水)
～11月3日(祝・月)

【山本玲子プロフィール】

啄木ソムリエ。1957年岩手県生まれ。岩手県立博物館勤務後、財団法人石川啄木記念館に24年間勤務。2013年11月に財団法人解散後、啄木ソムリエとしてフリーの立場で啄木の魅力と感動を伝えるべく活動中。岩手県民の森近くに暮らし、四季を通じて啄木が愛した岩手の自然に親しんでいる。



期間中、県民の森のある八幡平温泉郷のレストラン・カフェでコラボメニューが味わえます

森のイタリアン
La mia mamma



啄木舌づつみ

啄木風カルツォーネ 650円(税込)

【営業日】金土日(火水木は定休)
【ランチ】11:00～14:00 (L.O.)
【ディナー】17:00～20:00 (L.O.19:00)

〒028-7302 八幡平市松尾寄木1-668-68

TEL:0195-68-7924

※ディナーは17:00までに要予約

キッチンカフェ
かつぱ



啄木・節子の恋焦がれプリン

800円(税込)

【営業日】日月水金土(火は定休)
【ランチ】11:30～16:00 (L.O.)
【ディナー】17:30～19:30 (L.O.)

〒028-7302 八幡平市松尾寄木1-590-291

TEL:0195-78-2543

喫茶
ki + shaine



啄木鳥の響

コーヒー&かぼちゃパイ 700円(税込)

【営業日】日月水金土(火水は定休)
【時間】11:00～17:00 (L.O.16:00)

〒028-7302 八幡平市松尾寄木1-590-101

TEL:080-5573-6626

※冬期休業



県民の森だより

2025.

9

Vol.236

発行 岩手県民の森
(公益社団法人
岩手県緑化推進委員会)

【毎月5日発行】



ウワミズザクラ（昭和の森にて） 2024/9/1

9月、蒸し暑い夏が終わり、過ごしやすい季節となりました。木々の葉が色付きはじめ、木の実も次々と熟しはじめます。初夏にブラシのような白い花が咲いたウワミズザクラ。果実は、緑から黄色、オレンジ、赤、紫、とだんだん色が濃くなってきて、黒くなると熟した合図です。甘い実は、動物や鳥たちの秋の貴重な食糧、人間も果実酒やジャムにして利用します。実りの季節。森の恵みとの出会いは、心も身体も豊かになります。

岩手県民の森 管理事務所

〒028-7302

岩手県八幡平市松尾寄木 1-515-5 森林ふれあい学習館フォレストi

TEL. 0195-78-2092 FAX. 0195-71-1778

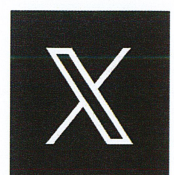
開館時間：9:00～16:00 火曜休館（祝日の場合翌日振替）

アイ

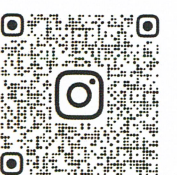


岩手県民の森 検索

Instagram 始めました



@forest_iwate



@MORI_IWATE

秋の実りを楽しみに

夏のあいだ、葉っぱにまぎれてひっそりと成長していた緑色の木々の実たち。秋になると彩り豊かに熟しはじめます。ピンクや赤、紫、青……。その美しい実が何の木か分かったら、またひとつ楽しみが増えます。木々の色付きもすこしずつはじまり、夏のあいだは素通りしていた場所なのに、新しい出会いがたくさんあります。爽やかな散策ができる季節。県民の森を歩いてみませんか。

サワフタギ



2024/9/9 サワフタギの実 瑠璃色の実は宝石のように美しいです。
【右下】花 2024/5/28 雄しべが長い小さな白い花が集合して咲き、遠くから見ると綿のように見えます。

ツリバナ



2024/9/24 ツリバナの実 垂れ下がった濃いピンク色の実、熟すと5つに割れて中から朱色の皮に包まれた種が出てきます。
【右上】花 2025/5/19 花も垂れ下がっています。
【右下】紅葉 2022/9/15 黄色～赤に美しく紅葉し、落ち葉を集めるのも楽しみのひとつです。

ミヤマガマズミ



2024/9/9 ミヤマガマズミの実 ガマズミより標高の高い山地に自生します。県民の森では植栽はガマズミ、自生はミヤマガマズミが多いです。ガマズミの実を上向き、ミヤマガマズミは垂れ下がるので区別できます。
【右上】花 2024/5/15 白い小さな花が集まって咲きます。

ミズキ



2024/8/5 ミズキの実 熟すと黒くなりますが、熟す少し前は薄い赤～紫色の様々な色合いが混ざって美しいです。
【右下】花 2024/5/28 小さな白い花が集合して咲きます。

クサギ



2022/10/21 クサギの実 花が終わると萼が閉じて、熟すと5つに裂けて中からブルーの実が出てきます。萼の赤と実のコントラストが美しいです。この目立つ色合いは「2色効果」と呼ばれ、鳥などに実をアピールするのに役立っています。
【右上】花 2025/7/29

ヤマブドウ



2024/9/12 ヤマブドウの果実 野生の山のブドウで酸味があって美味しいです。つる性でコイルのような巻きひげを伸ばして他の木によじ登ります。
【右下】紅葉 2021/10/4 長さ 15-30 cmの大き五角形状の葉は、ワインレッド色に紅葉します。

オニグルミ



2021/9/9 オニグルミの実 食べられる野生のクルミは動物たちの貴重な食糧。リスやネズミが食べた痕の殻がよく落ちています。
【右下】雌花 2024/5/28 立ち上がる赤の鮮やかさは印象的です。

サウグルミ



2021/10/28 サウグルミの実 長く垂れ下がる房に 10-30 個の翼のある実をつけます。1 つの実の直径 8 mm 程度の小さなもので、食用にはなりません。
【右上】雌花 2025/5/27 【右下】黄葉 2024/10/19

ハマナス



2024/9/16 ハマナスの実 まるでプチトマトのような実ができます。バラの実はローズヒップとも呼ばれ、ジャムや果実酒、お茶として利用されています。
【左上】紅葉 2024/11/2 【左下】花 2020/6/13 優雅で美しい花は、皇后陛下のお印として有名です。

ナツハゼ



2024/9/9 ナツハゼの実 ブルーベリーの仲間。黒く熟した実は甘酸っぱくて美味、ジャムや果実酒などに利用されています。
【右上】花 2025/6/22 緑色の釣鐘型の愛らしい花です。
【右下】紅葉 2021/10/5

県民の森 秋の自然イベント

お問い合わせ：学習館 ☎0195-78-2092

講師：岩手菌類研究同好会

きのこ教室

2025年9月13日(土)

9:00 ~ 12:30

園内でのこを採取して、講師から菌類としてのきのこの不思議な性質について、ポイントを学びます。

【初心者対象】

【定員】20名

【参加費】3,000円

【集合】8:45 に森林ふれあい学習館



秋の森さんぽ

2025年10月18日(土)

10:00 ~ 12:00

森林インストラクターのガイドにより、森のなかをゆっくり歩いて紅葉や秋の実りを楽しみます。

【初心者対象】【小学校高学年以上対象】

【定員】10名

【参加費】1,000円

【集合】9:45 に森林ふれあい学習館



晩秋の森さんぽ

2025年11月1日(土)

10:00 ~ 12:00

森林インストラクターのガイドにより、森のなかをゆっくり歩いて晩秋の森を楽しみます。

【初心者対象】【小学校高学年以上対象】

【定員】10名

【参加費】1,000円

【集合】9:45 に森林ふれあい学習館

